

めぐみ

ガラシアニュース

<http://www.gratia.or.jp/>

2020

No. 165



うらかな陽射しの中で ～老健中庭より～

目次

ともに歩む道のり 理事就任にあたって
ガラシア園田クリニックの開設について
南館での診療が始まります
デイケアでのコロナ対策
～ボヤキからのポジティブ編～
健康教室のご案内
しっかり簡単！朝ごはん

お知らせ

『ご来院時のお願い』

- ・マスクの着用をお願い致します。
- ・発熱・カゼ症状などがある方は、
受診前に電話でご相談下さい。

『10月28日(水)と10月31日(土)』

外来は休診となります』



ともに歩む道のり 理事就任にあたって

ガラシア会の理事に就任いたしました、カトリック大阪大司教区補佐司教の酒井俊弘です。理事に就任以来、患者としてでなくガラシア病院に定期的に来ることになりましたが、病気以外で初めて病院に行ったのは、高校生のとき、白血病の中学生の少女に輸血をするためでした。高校の先輩が所属するカトリック教会の信者だった彼女は、その後帰天。結局一度も本人とは会えませんでした。彼女の生き様と死に様は、のちに司祭職を志す大きなきっかけとなりました。彼女の葬儀ミサで配られたカードには、「私は神さまの永遠のいのちをもらい、それをむだに使わない人になります」と彼女の言葉が記されていました。病気からの回復を願いつつ闘病生活を送りながら、同時に永遠のいのちに心を向けていた少女でした。

病院は病気を治す場所であり、まずは治療が優先されるべきことは当然ですが、それが最終目標ではないでしょう。病気の治療は言わば手段であり、痛みや苦み、悲しみや不安から解放されて安らかな生活を送れるようになることが最終目標のはずです。現に、ホスピスの場合は、この最終目標を見据えての治療や介護が中心となります。たとえ病気が完全に治癒することがかなわなくても、心の安らぎが得られるなら、さらには永遠のいのちへの希望を持つことができるなら、安らかな心で過ごすことも可能でしょう。

医師、看護師、介護士など病気の治療にあたるスタッフだけでな

く、様々な形でかかわる職員やスタッフ全員が、それぞれの専門技術を駆使して職務をまっとうする中で、患者さんとその家族に安らぎを与えられる場となると、それが良い病院でしょう。ガラシア病院は、カトリックの病院として、設立以来そのような歩みを続けて来られましたが、21世紀の時代にあってその存在の重要さはいや増しています。

「ホスピスに寄せては返す蟬時雨」

酒井湧水（朝日新聞俳壇8月2日稲畑汀子選）

7月7日に緩和ケア病棟に入院された後藤進神父様をお見舞いした際に詠んだ拙句が新聞に掲載された翌日、神父様は帰天されました。すぐに伺いましたが、病院のスタッフによって人事を尽くされ、司祭としての天命をまっとうできた安らかな顔でした。今は天国から、他の多くのガラシア病院出身（？）の方々とともに、病院のためにお祈りくださっていることでしょう。新しい南館が完成します。自然のいとなみを間近に感じることができるこの病院が、訪れるすべての人の体と心が癒される場となるように、理事としてともに歩んでまいりたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



カトリック大阪
大司教区補佐司教
酒井 俊弘

ガラシア園田クリニックの開設について

カトリック大阪大司教区が設立母体である（株）ガラシアWINGが、大阪聖ヨゼフ宣教修道女会の協力のもと、兵庫県尼崎市にサービス付き高齢者向け住宅「ドムスガラシア」を9月1日に開設しました。理念を共有する高齢者が介護を受けながら住む場所であると同時に、受ける人と与える人の関係を脱却して、共に支え合う関係を創り上げていくチャレンジの場でもあります。ガラシア会は、この試みに参画するために1階部分に「ガラシア園田クリニック」を開設運営する事となりました。

大阪で生まれ育ったガラシア会が兵庫県に拠点を設ける事は大きな挑戦ですが、幸いに賛同してくださる医師の参加も得て、質面の病院・老人保健施設等との連携を緊密に保ちながら、少しずつ着実に進んでいこうと考えています。当面は週3日の診療ですが、夢は大きく膨らみ始めています。

今後とも皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

医療法人ガラシア会 施設長 石丸 伸司



南館での診療が始まります

2019年9月の旧本館建替えにともなう仮設運用から1年が経ちました。病院をご利用される皆様、近隣の皆様の多大なご理解とご協力、また、工事関係の皆様の安全管理のもと、無事に2020年10月に南館の完成を迎える事ができました。この11月からは、新たな南館で診療をスタートする事となります。

多くの皆様に完成した南館をご覧いただく計画でしたが、コロナ禍の中では断念せざるを得ません。新しくなった外来や入院病棟などは、ホームページでご覧いただけるよう準備しますので、ご覧いただければ幸いです。

中央館の改修工事が残りますが、新たなガラシア病院の始まりとなります。先に完成した北館（ホスピス病棟）共々、これからも地域に根差した病院として職員一同取り組んで参りますので、更なるご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務部長 福島 成之



デイケアでのコロナ対策 ～ボヤキからのポジティブ編～

今年は世界中が新型コロナウイルスへの対応一色の年ですね。ニューライフガラシアのデイケアでも様々な変化や対応に迫られました。利用者の皆様には毎朝自宅での検温とマスク着用をお願いしています。37.5℃以上の発熱や体調不良のある方は利用を控えて頂き、送迎車両へ乗る前にはアルコールで手指消毒をしてから乗ってもらっています。以前は隣や向かいの席の人と楽しくお喋りが出来ていたのに、今では席と席の間が離され、マスクをせずに喋っているとスタッフに注意を受けてしまいます。暑い日も寒い日も窓を開けて換気をせねばなりません。「窓閉めて」といわれる利用者にとその度に毎回換気の説明をしています。サークル活動も接触の機会を断つ理由から入所の利用者と一緒にすることが出来ません。ボランティアの受け入れも中止、外出レクリエーションも中止。利用者さんが帰った後は机や椅子、歩行器や車椅子などの消毒、送迎車両の消毒。おかげで前よりきれいになったでしょうか。もちろんスタッフも毎朝の検温と消毒をしています。にぎやかだった休憩室ではひっそりと昼食を食べ、記録的な猛暑の日でもマスクをしたまま汗びしょりで入浴介助を行い、プライベートでも節度ある生活を求められます。



しかしこんなボヤキばかり言っているわけにもいかず、前を向いて進んでいかねばなりません。ボランティアさんに頼っていたイベントでは、スタッフが練習をして楽器の演奏を披露したり、中庭で収穫したトマトやピーマンを使ってピザを作ったりと、今までにない取り組みを行うようになりました。近隣では営業自体していない通所サービスもある中、「ガラシアはデイを開けてくれていて助かる」「消毒などしっかりしてくれるから安心して来られる」などの利用者さんや家族さんの声も聞こえてきました。みなさん今の体制にも少しずつ慣れてきておられ、新しいスタンダードとして受け入れられつつあります。今後も変わらない雰囲気、新しい風も入れながら、安心・安全に利用していただけるデイケアであるよう取り組み、今日も笑顔で利用者さんをお迎えします。

通所リハビリ主任 三木 優信

健康教室のご案内

当院では、地域の皆様に健康維持増進に関わる有意義な情報を提供する目的で、定期的に講演会「健康教室」を開催しています。通常であれば1月の第3木曜日の13時から14時まで、当院7階ガラシアホールにて講師による講演を開催しています。しかし、新型コロナウイルス感染防止対策のため、次回健康教室は通常どおりの開催が困難と考えています。そこで現在、委員会において、感染を防ぎながら皆様に情報提供する方法の検討を重ねております。方法が決まりましたら、ご報告いたしますので、もうしばらくお待ちいただきますようお願い致します。



写真は過去の健康教室の様子です。多くの方がご参加下さいました。

新型コロナウイルスの感染が終息し、少しでも早くこの様に多くの方を迎えて講演が出来る事を願っています。

健康教室委員会委員長 大谷 久也



しっかり簡単！朝ごはん

◆きのこの鶏だし茶づけ

ウイルスから身をまもるためには、免疫力を高めることが大切です。食事は体づくりの基本です。特に朝の食事は、簡単にすませがち！たんぱく質をしっかりと、季節の野菜でおいしく食べて免疫力を高めましょう。

材料(1人分)

鶏ささみ …… 1本
酒 …… 大さじ1
エノキ …… 20g (1/10袋)
三つ葉 …… 3g (3本)
鶏ガラスープの素 …… 小さじ2
水 …… 200cc
ご飯 …… 125g
＊好みでクコの実、松の実・少々

(1人分エネルギー 約300キロカロリー)

作り方

- ① エノキ、三つ葉は、1cm位に切っておく
- ② 鶏ささみは筋をとる。
- ③ 耐熱容器に②と酒を入れ軽くラップをして、電子レンジで約1分半加熱する。火が通ればほぐしておく。汁は残しておく。
- ④ 鍋に分量の水をわかし鶏ガラスープの素を加え溶かす。③の汁も加える。(鶏ガラスープの素をポットのお湯で溶かすと簡単)
- ⑤ 器にご飯を入れ、①、③を盛り付け④のスープを注ぐ。クコの実、松の実をトッピングする。



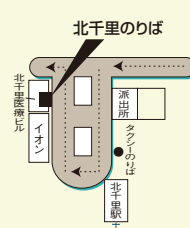
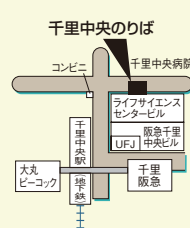
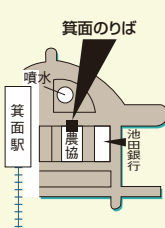
☆ 薬膳料理では、秋に、滋養、強壮効果のあるクコの実や肺をうるおす松の実をよく使います。彩りも良く、食感も楽しむことができます。

栄養科 管理栄養士 柴田 恵津子



●千里中央・北千里・箕面駅からシャトルバスを運行しています。

〈送迎バス各のりば〉



ガラシア訪問看護ステーション

TEL 072-727-1866 FAX 072-729-3311
2020年8月から土曜日も開設しています

介護老人保健施設

ニューライフガラシア

TEL 072-729-2346 FAX 072-729-7951

指定居宅介護支援事業所

ケアプラン ガラシア

TEL 072-729-2347 FAX 072-729-3311



医療法人ガラシア会

日本医療機能評価機構認定病院

〒562-8567 大阪府箕面市栗生間谷西6丁目14番1号
TEL.072-729-2345 FAX.072-728-5166
<http://www.gratia.or.jp/>



■診療受付時間

平日／ 8:30～11:30
12:30～15:30
土曜日／ 8:30～11:30

■休診日

日曜、祝祭日、土曜午後
12:30～1/3

編集後記

白の彼岸花の花言葉は「また会う日を楽しみに」だそうです。新型コロナウイルス感染防止対策で、まだまだステイホーム(家に居る)が続いています。少しずつでも以前の賑わいが戻り、皆さんがつどえる様にと白い彼岸花を表紙にしてみました。

ちなみに、黄色の彼岸花の花言葉は「深い思いやりの心」。コロナ禍の中、感染された方やそのご家族、周りの皆様が早く回復され、いつもの生活に戻ることが出来ますようにとの思いも込めて。

N.F



編集・発行 広報委員会